

「春日井市立神屋小学校 出前授業」

水土里ネット愛知用水

令和2年11月24日(火)、春日井市立神屋小学校の4年生児童36名に水土里ネット愛知用水の職員が講師として出前授業を行いました。

前半は近藤事務局長が、春日井市神屋町にある国内でも珍しい神屋地下堰堤の特色や役割を説明しました。この施設は、地形を利用して地下水を地上に運び農業用水として使うもので、昭和10年に完成し、現在も利用されています。授業中に質問をすると多くの児童が積極的に手を挙げて発言しており、学ぶとする意欲が伝わってきました。後半は春日井事務所職員が「愛知用水ができるまでの話」と「愛知用水の概要」の説明を行いました。スクリーンに絵を映して説明をし、下部写真のようにみんなが注目しながらよく聞いておりとても楽しく授業することができました。最後に愛知用水に関するクイズを行いました。多くの児童が全問正解しており、内容についてよくわかってもらえたと感じました。

今回の出前授業についてのアンケートを行なったところ、内容について多くの児童が「よくわかった」と回答しており、感想では「農家の方や水を管理している人に感謝しようと思った。」「日常で水がすごく大切であることが分かった。」などと先人たちの苦労や愛知用水ができてどのような影響を及ぼしたのか、よく理解してもらえたかと思えます。来年、また神屋小学校で出前授業をするときには今回以上にわかりやすく、楽しい授業ができるよう工夫を重ねていきたいです。



伊藤理事 あいさつ



神屋地下堰堤の話
たくさん手を挙げてくれました！



愛知用水ができるまでの話

